

削除:平成19年度 子育て委員会 (ミッドワイフ千葉)

書式変更: 箇条書きと段落番号

2、目標に対する結果・評価

目 標	内 容	結 果 ・ 評 価
地域の子育ての手助けになるよう、電話無料相談「ミッドワイフ千葉」を運営する。	1、定例会を開催し、役割分担をする。 2、月曜～金曜の10時～16時電話無料相談を実施する。ただし年末年始・旧盆期間は除く。 3、専用携帯電話に当番の協力員の連絡先を毎朝吹き込む。 4、相談記録を提出してもらい、その管理・集計・考察をする。	1、委員会報告参照。 2、242日実施。相談数786件。前年度比22.8%増。 3、1ヶ月交替で実施。 4、集計は後ページ資料参照。 カルテ書式を検討し、20年度から変更する。
県民へ周知を図り、電話相談を必要とする人に情報が届くようにする。	1、関連機関にチラシ・カードの常置を依頼する。 2、地域・施設で働いている支部会員に、チラシ・カードの利用を推進する。 3、イベント来場者にチラシ・カードを配布する。 4、ホームページを活用する。	1、前年度実施したため今年度はせず。 2、大潮の同封資料やブロック長を通じて、会員の活動場所での啓蒙活動に力を入れてもらった。 3、国際助産師の日でチラシを配布。ブロックでのイベントへ資料やポスターを提供。 4、ホームページは活用できなかった。
相談員を確保し、次年度への継続を図る。	1、理事会に出席し、報告する。 2、広報「大潮」や総会資料に活動計画・報告を載せるなどの方法で、支部会員全員に理解を求め、相談員の協力を求める。 3、次年度の協力員を募り、シフト作成する。 4、資料を更新し、次年度協力員に配布する。 5、引継ぎを円滑にするため、次年度担当ブロックと協力する。	1～3、ブロック長から新たな相談員を勧誘してもらった。大潮に同封して会全員に相談員及び紹介先助産師の協力を募った。相談員を退いた人9名に対し同数の人が新たに協力し、54名の相談員を確保できた。希望協力日数内でシフトを組むことができた。 4、紹介先助産師マップを委員会で書式を揃えて作成し、各ブロックに確認した。 5、6ブロックと協力した。 資料の電算化を図った。
質の向上に努める。	1、教育委員会と連携し、年1回程度研修会を開催する。 2、協力員へ研修会参加を呼びかける。 3、研修時アンケート、協力員依頼の手紙などで協力員から意見を募り、より円滑な運営に向けて検討する。	1、理事会承認の上、子育て委員会主催で研修・事例検討会を行った。10/13「更年期の方への援助」参加者18名。 2、大潮、電話で行った。 3、次年度の研修課題として挙げたもの。虐待防止につながった事例の報告、特殊なケースへの対処法(双方が傷つかない方策)、最新知識の習得

次年度(平成20年)課題

ボランティアとしては負担が大きい事業であるためか、半日なら相談員ができるという会員も多い。県民への認知度と貢献度はアップしていることから、負担を分け合える協力員数、必要な経費、相談員の精神面の支えなどを得ることが望まれる。